

4月1日

まちづくりの推進に向けて
(株)テシカガタウンラボを都市再生推進法人に指定

指定書を授け取った上村町長(右)と
簡井貴文副社長(左)



町は4月1日、(株)テシカガタウンラボ(上村剛志社長)を都市再生推進法人に指定し、徳永町長が指定書を交付しました。
都市再生推進法人は、行政の補完的機能として、まちづくり活動の推進的な役割を果たす事が期待される団体を町が指定するものです。指定された(株)テシカガタウンラボは、現在地域特産品開発や中心市街地再構築事業などに携わっています。
上村社長は「新たな気持ちで町を盛り上げるために頑張っていきたい。」と話していました。

4月1日~30日

表情豊かな作品の数々
「創作人形YOUの会」作品展を開催

表情豊かな人形の数々



創作人形YOUの会(江口佑子代表)の創作人形作品展が4月1日~30日まで、弟子屈郵便局(藤原将男局長)ロビーで開催されました。
展示された人形は、紙粘土や布を使用し精巧に作られ、浴衣姿の子どもたち2人でベンチに座り、笑顔でスイカを食べている様子や祖父と孫が仲良くしている様子など表情豊かな人形が16点展示されており、来局者の目を楽しませていました。

4月10日

安全第一で
春の交通安全「旗の波街頭啓発運動」を実施

啓発品を渡す岩原教育長



町交通安全運動推進協議会(徳永哲雄会長)と町交通安全協会(村岡幸雄会長)は4月10日、摩周観光文化センター前で旗の波街頭啓発運動を実施しました。
同啓発運動は、交通安全意識の向上を目的として毎年実施しており、関係機関などから約90人が参加。沿道に並び、交通安全をよびかける旗を掲げて交通事故防止を呼びかけたほか、弟子屈警察署の協力の下、通行車両のドライバーに啓発品を配布しました。

4月5日

地域の交通事故の防止に向けて
春の交通安全出動式を実施

出動していく様子



弟子屈警察署(五十嵐敏行署長)は4月5日、6日から15日にかけて行われる春の交通安全運動に先立ち、弟子屈警察署にて出動式を行いました。
五十嵐署長からは「新入学した児童は交通ルールをまだ理解できていないので、周囲の優しい見守りが大切」と話していました。出動式後は、パトカー7台が車列を組み、町内の安全を守るためパトロールに出動しました。

4月18日

安心・安全な町を目指して
町自治会連合会総会を実施

挨拶をする野田口会長



町自治会連合会(野田口昌明会長)の令和6年度の総会が4月18日、町公民館で行われました。
同連合会は「思いやりと助け合いの輪を広げましょう」をテーマに、防犯や防災などについての学習や意見交換、美化活動や交通安全運動への参加。また11月頃には、鶴居村で開かれる釧路管内町内会連絡協議会研修交流会にも参加する予定とのことでした。
今年度も会長を務める野田口会長は「能登半島地震をはじめ、今年は災害が起きる年だと感じている。自治会内でも、改めて防災について研修を受けるなど、意識を高めてほしい。」と話していました。

4月12日

観光客の安全と客足の回復を祈願
摩周湖安全祈願祭を開催

安全と客足の回復を祈願



(一社)摩周湖観光協会(渡辺隆幸会長)では4月12日、摩周湖カムイテラスにて安全祈願祭を行いました。
祈願祭は昨年11月から冬季間通行止めとなっていた、道道屈斜路摩周湖畔線の摩周湖第1展望台から川湯までのルートが同日から開通することに合わせて行ったもので、徳永町長や近江屋町議会議長など関係者約11人が出席。観光客の安全と本町に多くの観光客が訪れることを祈願しました。

3月15日

家計管理などを学ぶ
金融授業を実施

しくみについて学ぶ生徒



町内の郵便局とゆうちょ銀行パートナーセンターによる金融授業が3月15日、弟子屈高校(高野龍彦校長)で行われました。
講師は、屈斜路郵便局の三塚勝也局長が務め、1年生14人が家計管理や税と社会保険の仕組みを学びました。グループワークでは、マイカー購入や住宅購入など大きなイベントに必要な金額を細かく調べ、ディスカッションを行い、貯蓄の重要性を話し合いました。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (直通)

3月21日

中学校卒業をお祝い
ダンス発表会を実施

中学卒業生にダンスを披露



川湯ダンスクラブ(丸山奈織子代表)が3月21日、川湯中学校体育館で中学校卒業を記念した発表会を開催しました。この日は、保護者や関係者が見守る中、川湯ダンスクラブに所属する23人の子どもたちが、卒業を祝うため華麗なダンスを披露。卒業とともに同クラブを退団する井出音さんは、「9年間、みんなと活動できて楽しかった。」と話していました。

3月18日

交流の場を設けて
カラオケ交流会を実施

笑顔を見せる利用者



養護老人ホーム倅和園(丹羽好文園長)とJA北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周(高石和恵施設長)で3月18日、カラオケ交流会を実施しました。
今回、コロナの緩和に伴い交流する場を設け、人前で歌を披露したり、聞いたりする機会を作ろうと合同で実施されました。利用者だけではなく、職員など13人も舞台上で歌を披露し、約50人の両施設の利用者が参加しました。
中には、着物やドレスを着て熱唱したり、手拍子や口ずさむ場面も見られ大いに盛り上がり、今後もこういったイベントを開催していきたいとのことでした。

3月26日

音楽イベントin川湯
JAZZライブを開催

ライブの様子



てしかがえこまち推進協議会(徳永哲雄会長)のアート部会(今井善昭部会長)が主催するJAZZライブが3月26日、ArtIN n 極楽芸術伝染装置で行われました。
ライブで演奏したのは、札幌を中心に活動をしているピアニストの齋藤桃子さん、ギタリストの古館賢治さんで、素敵な歌声とともにオリジナル曲を含めた12曲を演奏しました。
会場には約20人が来場し、おふたりの演奏を聴きながら、ゆったりとした時間を過ごし拍手もたくさん聞かれました。

3月22日

交通事故ない町づくりを
全日本交通安全協会会長表彰を受賞

表彰盾を持つ土屋会長(右)



町女性ドライバークラブ(土屋ひとみ会長)が、第64回交通安全国民運動中央大会で、全日本交通安全協会(川村隆会長)から交通安全優良団体として表彰され、3月22日に報告会が行われました。
同クラブは、「交通安全は家庭から」をスローガンに、「旗の波」や「ひまわりプロジェクト」など交通安全街頭啓発に積極的に参加し、30年にわたる活動が認められ今回の受賞となりました。